

令和5年度 第2回 医療・介護・住まい部会 次第  
(田川市地域包括ケアシステム推進協議会)

令和6年2月28日(水) 18:00～

田川市役所 4階 第2委員会室

1 開会

2 部会長挨拶

3 議事

- (1) 「医療と介護の情報共有の仕組みづくり」について・・・〔別紙1、資料1〕
- (2) 「多職種連携のための場づくり」について・・・〔別紙1、資料2〕
- (3) 「住宅のリフォーム・バリアフリー化の推進」について・・・〔別紙1、資料3〕
- (4) 「高齢者向け賃貸住宅の供給促進及び施設等の整備」について・・・〔別紙1、資料4〕
- (5) その他

4 閉会

次回 令和6年8月頃開催予定

医療・介護・住まい部会の令和4年度実績及び令和5年度実績(予定)

◎ 高齢者が住み慣れた地域に必要な医療・介護サービスが受けられる。

事業の柱		在宅医療・介護の提供	
事業	医療と介護の情報共有の仕組みづくり	多職種連携のための場づくり	
担当課	保健福祉課福祉政策係 高齢障害課高齢介護係	高齢障害課高齢介護係	
令和4年度 実績	<p>【保健福祉課】</p> <p>※令和4年8月と令和5年2月に田川地区医療構想調整会議が開催された。</p> <p>○地域医療構想調整会議について 地域医療構想の進め方については、令和4年3月に厚生労働省の通知があり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって明らかとなった病床の機能分化・連携等の重要性が改めて認識されたこと、病床の削減や統合ありきではなく、地域の事情を踏まえ主体的に取組を進めることなどが示されている。 ※病床機能報告における病床の分類は、高度急性期、急性期、回復期、慢性期がある。 各医療構想会議においては、公的医療機関、それ以外の医療機関の病床数を「合意・検証済」「協議・検証中」、「協議・検証未開始」などに分類し、県単位で報告することとなっている。 また、令和5年2月の会議では、糸田町立病院の公的医療機関等2025プランについての議論がなされた。</p> <p>○紹介受診重点医療機関について 外来機能の明確化・連携を強化し、患者の流れの円滑化を図るため、医療資源を重点的に活用する外来の機能に着目して、紹介患者への外来を基本とする医療機関(紹介受診重点医療機関)を明確化する目的で進められている。 ※病院の要件、意向を加味し、紹介受診重点医療機関を決めていく。</p> <p>○医療と介護の連携について ・入院時情報提供書(簡易版)の作成から周知までが、昨年度までに一通り完了。 ・今後の取組として、退院時情報提供書(仮)の様式作成について検討するため、病院と介護事業所にアンケートを実施。</p> <p>【高齢障害課】</p> <p>○医療・介護関係者間の情報共有 ・在宅療養のしおりの更新(医師会)</p> <p>○入退院時等連携会議 ・「入退院時連携マニュアル」の内容修正(変更・見直しなど)及び周知等。</p> <p>○入退院時連携マニュアル作成 ・田川市郡で更新作成を行い、各事業所等へ周知・配布。</p>	<p>【高齢障害課】</p> <p>○田川地区多職種連携 ・とびうめネット研修会(医師会) R4.10.20 参加者:47名</p> <p>○ケアカフェたがわ(市) ・R4.9.16 第1回「コロナ禍において面白くなかったこと、良かったこと」WEB研修 参加者:35名 ・R4.12.9 第2回「地域の事例で学ぶ臨床倫理(意思決定支援)」対面研修 参加者:35名 ・R5.3.6 第3回「在宅での看取りについて」対面研修 参加者:56名</p>	
令和5年度 実績(予定)	<p>【保健福祉課】</p> <p>○地域医療構想等について(田川地域医療構想調整会議の内容を含む)</p> <p>1 在宅医療等について 地域包括ケアシステムでは、住み慣れた地域で自分らしい生活を続ける、という基本的な考え方と方向性が示されており、それを実現するためには、医療の安定的な提供が大きな役割を担っている。 そうした中、外来機能の明確化・連携を強化(かかりつけ医機能の強化)し、患者の流れを円滑化するために検討が進められている。急性期、慢性期、回復期、それぞれの患者のステージに見合った対応をどの医療機関が担うのか、どうすれば、安定的な医療資源が確保できるのか、といった論点で進められているところである。 慢性期から介護施設、在宅医療への円滑な移行、また、そうした需要を見据えながら協議が行われている。</p> <p>2 医師の確保について(働き方改革の影響から) 医師の働き方改革として、令和6年4月から医師の時間外・休日労働時間の上限規制が開始される。これに関して、派遣医師が診療を担っている田川地区急患センターも田川労働基準監督署に許可申請を行い、許可が下りたため、医師の時間外勤務を通算する必要がなくなり、現在の診療体制を維持していける見込みである。 しかし、医師の執務時間が減るというものではないため、医療現場の状況に注視しながら、適正な配慮を行っていかなければならない。</p> <p>○医療と介護の連携について ・市内で入退院の取扱いが多い7病院(田川市立病院、社会保険田川病院、村上外科病院、一本松すずかけ病院、田川新生病院、見立病院、大法山病院)を訪問し、退院時情報記録書(共通様式)の活用について投げかけた。 結果は資料1のとおり。 (内訳) 活用を前向きに検討 3病院 検討中 1病院 活用は難しい 3病院</p> <p>【高齢障害課】</p> <p>○医療・介護関係者間の情報共有 ・在宅療養のしおりの更新(医師会)</p> <p>○入退院時等連携会議 ・R5.8.29 第1回入退院時等連携会議 R5年度の「入退院時連携マニュアル」の報告、退院時情報提供書の作成についての報告、主任介護支援専門員からの報告 ・R5.1.25 第2回入退院時等連携会議(予定)</p> <p>○入退院時連携マニュアル作成 ・田川市郡で更新作成を行い、各事業所等へ周知・配布予定。</p>	<p>【高齢障害課】</p> <p>○田川地区多職種連携 ・R5.11.17田川地区多職種連携研修会(医師会) 「みんなで挑む医療・介護の大変革」 ハイブリッド研修 参加者:98人</p> <p>○ケアカフェたがわ(市) ・R5.7.21 第1回「人生の終わりまでどのように過ごしたいか」～もしものためのもしバナ～対面研修 参加者:54名 ・R5.11.30 第2回「田川でもできる!自分の家で最期まで」対面研修 参加者:69名 ・R6.2.22 第3回「尊厳死についてあなたはどうか考えますか～自分の意志で救命処置をしないということ～」(予定)</p>	
事業報告	<p>【保健福祉課】</p> <p>○退院時情報記録書(共通様式)の活用について(資料1)</p>	<p>【高齢障害課】</p> <p>○R6.2.22 第3回ケアカフェたがわチラシ(資料2)</p>	

医療・介護・住まい部会の令和4年度実績及び令和5年度実績(予定)

◎ 高齢者が住み慣れた地域に必要な医療・介護サービスが受けられる。

事業の柱		高齢者の居住確保	
事業	住宅のリフォーム・バリアフリー化の推進	高齢者向け賃貸住宅の供給促進及び施設等の整備	
担当課	建築住宅課住宅政策係	高齢障害課高齢介護係 建築住宅課住宅政策係	
令和4年度 実績	<p><b>【建築住宅課】</b> ○民間住宅への取組みについて ・民間住宅(個人)のバリアフリー改修助成事業は、30件・助成額500万円の事業実績であった。また令和4年度改定した[田川市住宅マスタープラン]により、リフォーム・バリアフリー化施策の拡充の取組みを開始した。</p> <p>○市営住宅への取組みについて ・老朽化市営住宅の対象団地(日吉町・中央・新野上・平和)の住民の継続居住希望者15戸の移転交渉の結果、9戸まで減少する事ができた。 建替建設予定の向陽台団地(高層80戸 車いす対応平屋10戸)の集合住宅・集会所・浄化槽・宅地造成・道路・橋梁等の設計及び造成工事を行った。</p>	<p><b>【高齢障害課】</b> ○施設等の現地調査 ・地域密着型サービス事業所において、新規指定及び指定更新(6年に1回)に係る現地調査を実施。 更新対象事業所(入所系):1件実施→指定更新</p> <p>○介護施設等の利用状況調査(令和4年12月1日現在)を実施。 入所率87.6%</p> <p><b>【建築住宅課】</b> ○市営住宅への取組みについて ・高齢者対応賃貸住宅に取り組みなければならない建替建設予定の向陽台団地(高層80戸 車いす対応平屋10戸)の集合住宅は、スマートウェルネスを目指すため橋梁を設置する等生活動線の利便性を考慮して設計を行った。</p>	
	<p><b>【建築住宅課】</b> ○民間住宅への取組みについて ・民間住宅(個人)のバリアフリー改修助成事業は、30件・助成額500万円の事業実績予定である。また[田川市住宅マスタープラン]による、リフォーム・バリアフリー化拡充施策の改定がR5年度であったが予算調整によりR6年度に繰り延べとなり新制度を開始が遅れることとなった。</p> <p>○市営住宅への取組みについて ・老朽化市営住宅の対象団地(日吉町・中央・新野上・平和)の住民の継続居住希望者9戸を移転交渉により減少させる。向陽台団地(高層80戸 橋梁 造成)の建設工事をR7.10の建替移転入居を目指して実施していたが、土壌汚染の判明によりその対策に時間を要するためR8.10の見通しとなった。</p>	<p><b>【高齢障害課】</b> ○施設等の現地調査 ・地域密着型サービス事業所において、新規指定及び指定更新(6年に1回)に係る現地調査を実施。 更新対象事業所(入所系)1件実施予定。</p> <p>○介護施設等の利用状況調査(令和5年12月1日現在)を実施。 入所率88%</p> <p>○施設整備の方針について ・介護保険施設の整備については、福岡県高齢者保健福祉計画の中で施設整備量を計画し、計画期間の3年間で整備している。本市については、今期計画(令和3年度～5年度)は整備予定なし。 ・令和5年度末までに次期計画(令和6年度～8年度)である「福岡県高齢者保健福祉計画(第10次)」及び「福岡県介護保険広域連合介護保険事業計画(第9期)」を策定することから、福岡県による施設整備意向調査において田川市の施設整備については、整備しない方針で県に報告している。</p> <p><b>【建築住宅課】</b> ○市営住宅への取組みについて ・高齢者対応賃貸住宅に取り組みなければならない建替建設予定の向陽台団地(高層80戸 車いす対応平屋10戸)の集合住宅は、高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)に即した整備とするため団地敷地全体の複合するインフラ調整を行い事業を進める事ができた。</p>	
令和5年度 実施概要			
令和5年度 実績(予定)			
事業報告	<p><b>【建築住宅課】</b> ○市営住宅への取組みについて 向陽台団地整備概要(資料3)</p>	<p><b>【高齢障害課】</b> ○R6.2.22 第3回ケアカフェたがわチラシ(資料2)</p>	

退院時情報記録書（共通様式）の活用について  
市内 7 病院（12/11～12/22 訪問）結果まとめ

	病院名・対応者	結果	
1	医療法人 和光会 一本松すずかけ病院	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の病院が共通様式を使用すれば情報共有ができると思うので、前向きに検討したい。退院時アセスメントシートをこの共通様式に変えられないか、システム変更を検討する。</li> <li>あのまま様式を使うのは難しいため、<u>精神科の内容と合わせてサマリーを作り直している</u>。一旦使ってみて修正等を行うので、2月末ごろまでかかる見込み。完成したらメールで共有してもらう予定。</li> </ul>
2	社会保険 田川病院	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療と介護の連携や現場の負担軽減のためには、他病院の動きに関わらず、実施することが望ましい。相談室で打ち合わせた上で、病院内決裁にかけてみる。</li> <li>院長を含めた管理者会議にかけ、<u>進める方針ではあるが、他病院の状況や介護側の意向が不明のため動きづらい</u>。いつまでに正式回答するかなどスケジュールがあれば教えてほしい。</li> </ul>
3	医療法人社団 敬信会 大法山病院	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護からは相当反発があるだろうが、一旦病院内で相談してみる。</li> <li>病棟師長と話して、<u>案件は少ないがやってみよう</u>という話になった。市施設へは少なく、郡への退院が多いため、年1～2件になる可能性あり。</li> </ul>
4	社会福祉法人 柏芳会 田川新生病院	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通様式と看護サマリーのどちらを主にし、どちらを参照するかなど検討が必要。二度手間は避けたい。一旦話を預かって検討する。</li> <li><u>院内で検討中</u>。問題点として①看護サマリーと重複する。②看護サマリーにない項目がいくつかある。看護サマリーは必須のため不足項目を追加し名称変更ができないかなど検討。方針が決まれば連絡する。</li> </ul>
5	田川市立病院	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>運用上のことを考えると相当難しいが、市の意向もわかるので、一旦預かって院内で相談してみる。</li> <li>事務局長まで決裁している状態だが、<u>対応は難しい</u>。次は共通様式の使用にこだわらず、各病院が持っている看護サマリーに不足分を足すなど、臨機応変にすればやりやすいのではないかと。</li> </ul>
6	医療法人 鷹ノ羽会 村上外科病院	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>カルテは全て手書きのため、ナースの負担が増えてしまう。導入は難しい。</li> </ul>
7	医療法人 昌和会 見立病院	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>様式活用についての回答なし。説明を聞いたのみ。（今後の活用見込は薄いと思われる。）</li> </ul>

医療・介護・福祉従事者と 地域住民をつなぐ

令和5年度  
第3回

## ケア・カフェたがわ

参加  
無料

テーマ

尊厳死についてあなたは  
どう考えますか？

～自分の意思で救命処置をしないということ～

講師

一般社団法人田川医師会 会長  
岡部内科循環器内科 院長  
岡部浩司先生

日程

令和6年2月22日(木)

時間

18時30分～20時00分

場所

田川医師会館（講堂）

〒825-0002 田川市大字伊田2735-23

お知らせ

今回は、講演です。グループワークはありません。

募集人数

定員50名

参加対象

地域住民（民生委員等）、医療・介護・福祉に携わる方

申込方法

裏面の「参加申込用紙」に必要事項を記入のうえ、田川市在宅医療介護連携相談室へ  
FAXまたはメールでお申込みください。

申込締切

令和6年1月31日(水)までにお申し込みをお願いいたします。

問い合わせ 田川医師会 田川市在宅医療・介護連携支援相談室

TEL 0947-23-1512 FAX 0947-23-1522 E-mail h-hanada@tagawaishikai.jp

主催 田川市・田川医師会 共催 福岡県立大学

☞なお、裏面が参加申込用紙になっています。

# 参加申込用紙

下記、必要事項をご記入のうえ、**令和6年1月31日(水)までにFAXまたはメール**でお申込みください。

- \* 開催前に、当日のレジメなどをお送りします。メールアドレスのご記入をお願いいたします。  
(また、郵送やFAX送信をご希望される方は、住所または、FAX番号をご記入ください。)
- \* 定員を超えた場合は、ご本人へご連絡いたします。

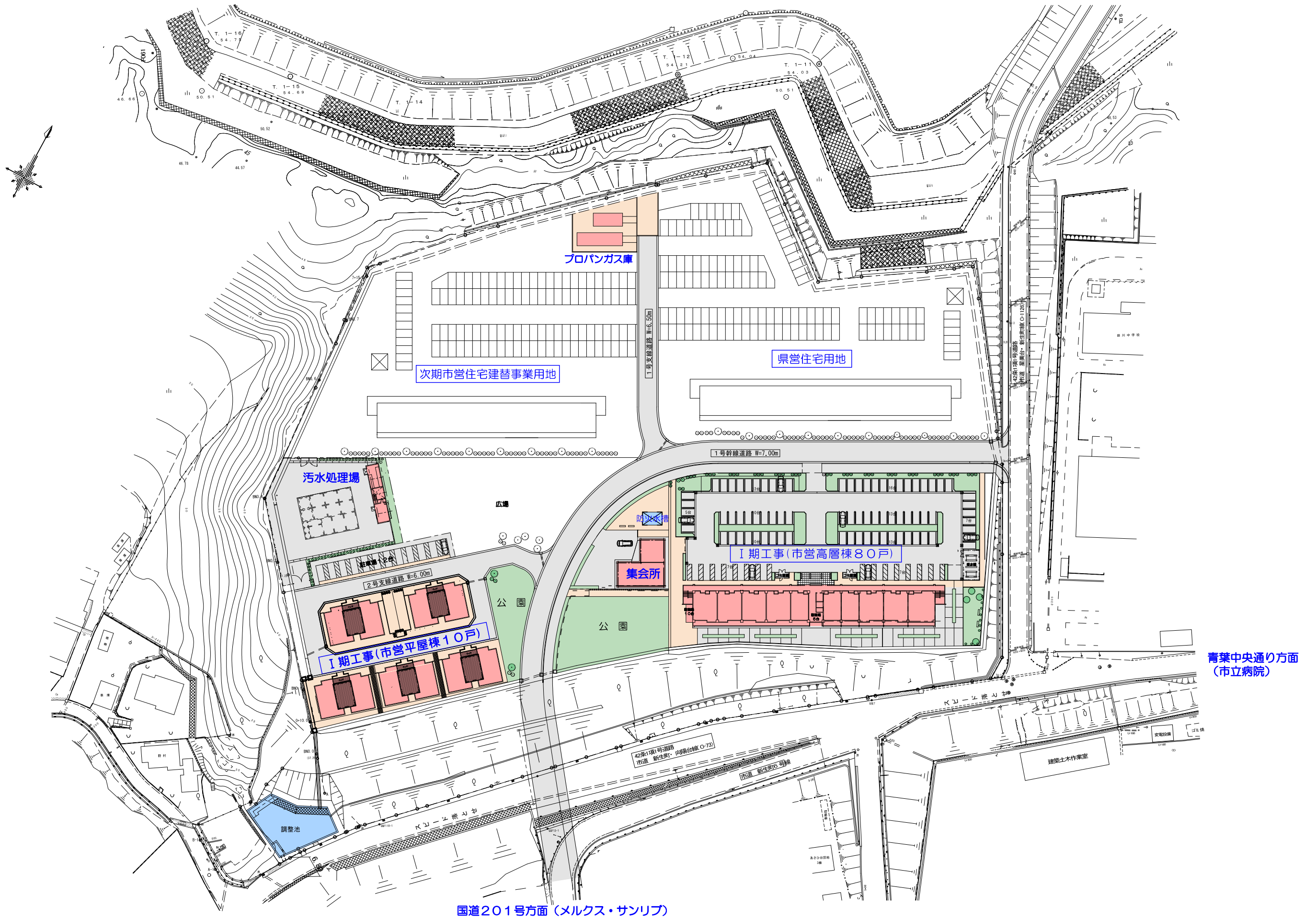
ふりがな 氏名			
レジメ 送信先	連絡先電話番号		
	メールアドレス または、住所・FAX番号		
地域役職 ・職種		職場名	

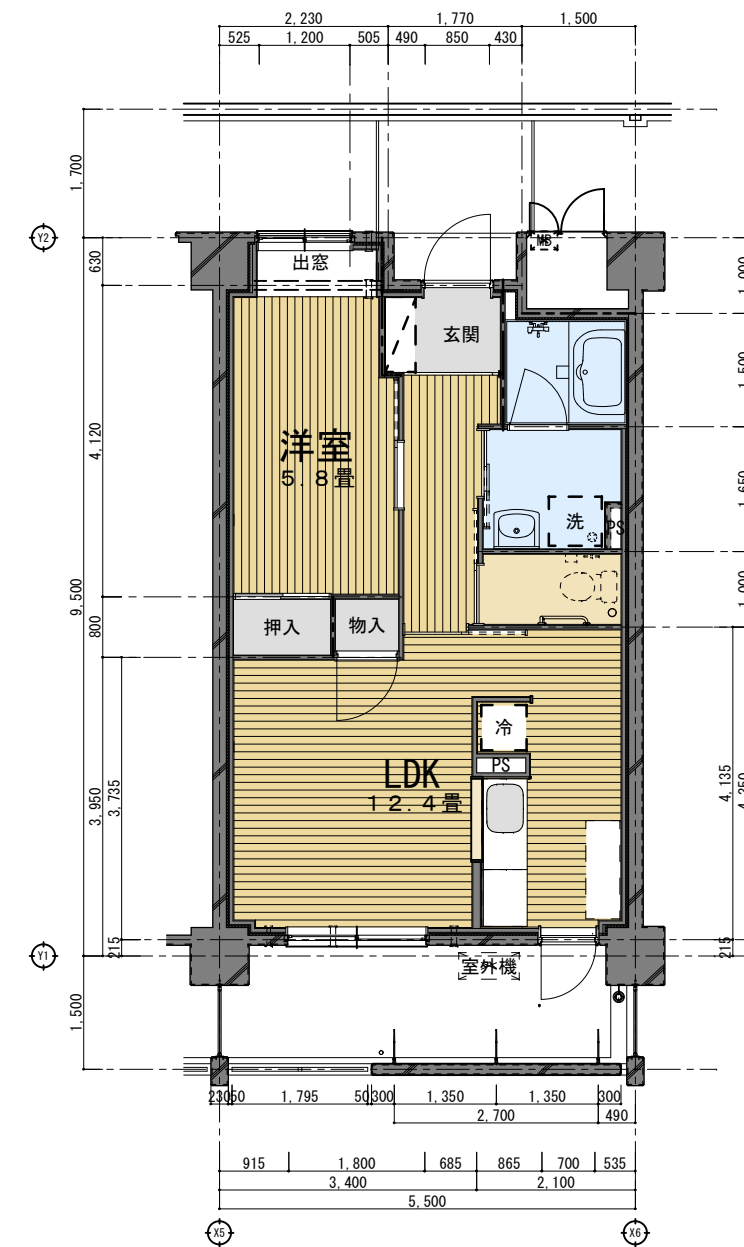
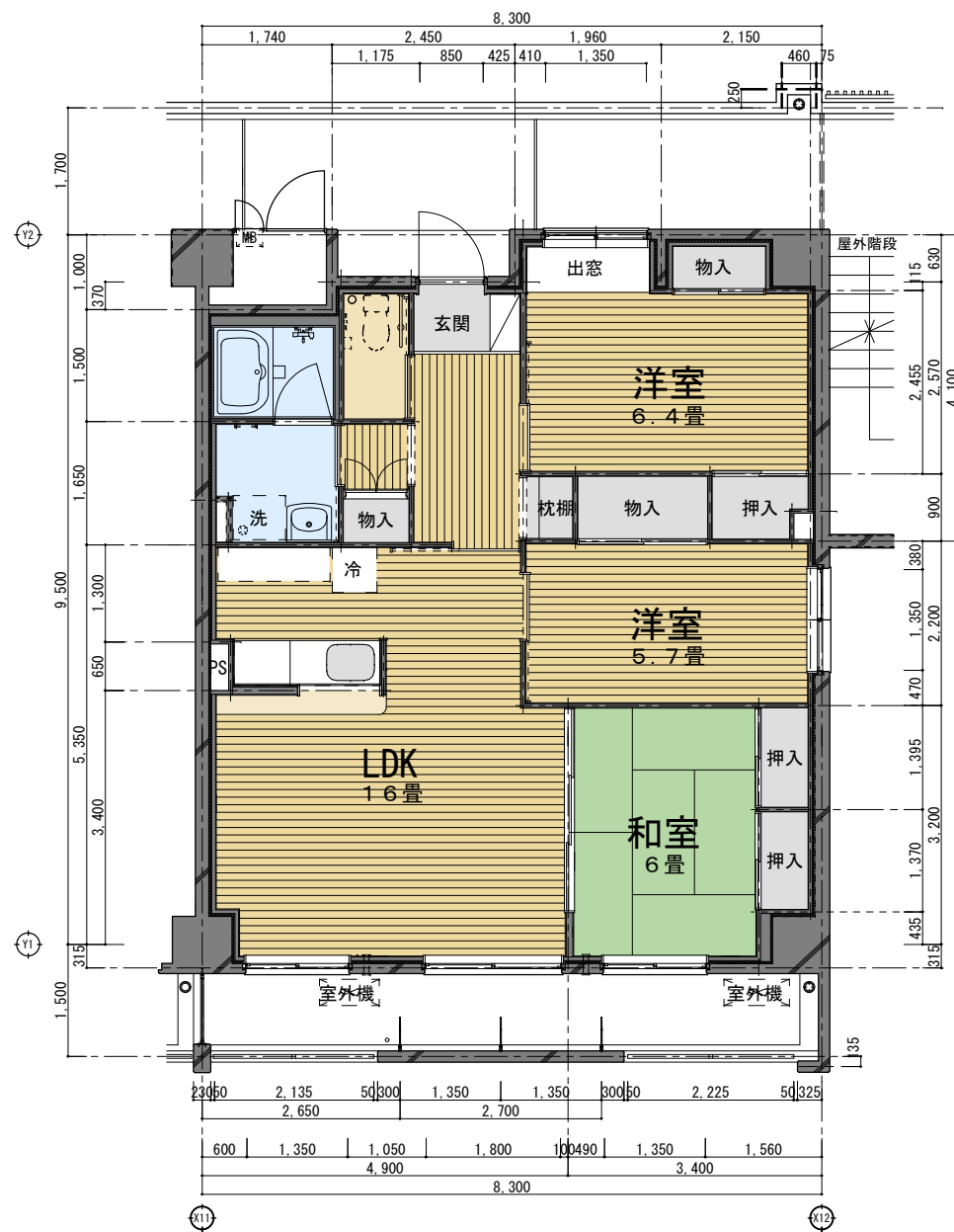
ふりがな 氏名			
レジメ 送信先	連絡先電話番号		
	メールアドレス または、住所・FAX番号		
地域役職 ・職種		職場名	

会場 **田川医師会** (田川市石炭・歴史博物館のよこ)  
(住所) 〒825-0002 田川市大字伊田2735-23 (電話番号) 0947-23-1512

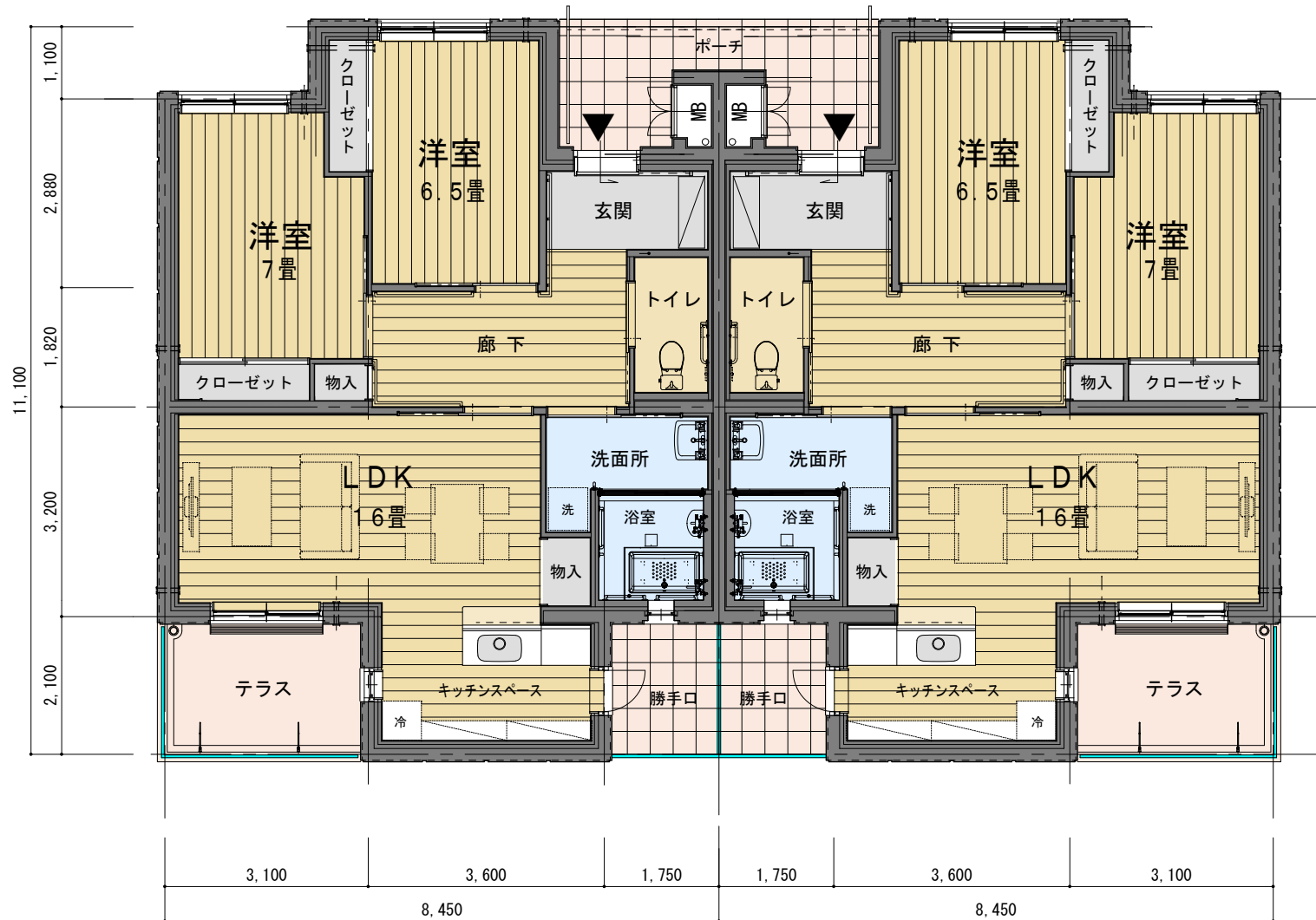


**FAX**  
**0947-23-1522**





# 向陽台市営住宅（平屋棟） 実施設計（案）



2LDK住戸平面詳細図

1戸当たり床面積 76.91㎡

## 介護保険施設等（入所施設）

令和5年12月1日現在

施設区分	福岡県高齢者 保健福祉計画 整備量管理	指定等 関係機関	市内 施設数	定員数	入所人員	入所人員の保険者	入所率
介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム） ※定員30人以上	意向調査 有	県 （介護保険課） 指定	4	260人	250人	田川市 100人 市外 150人	96.2%
地域密着型介護老人福祉施設 （地域密着型特別養護老人ホーム） ※定員29人以下	意向調査 有	保険者 （広域・市） 指定	0	-	-	-	-
介護老人保健施設（老人保健施設）	意向調査 有	県 （介護保険課） 指定	3	280人	228人	田川市 121人 市外 107人	81.4%
介護医療院	意向調査 有	県 （介護保険課） 指定	0	-	-	-	-
介護療養型医療施設（療養型病床群等）		県 （介護保険課） 指定	0	-	-	-	-
認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	意向調査 有	保険者 （広域・市） 指定	10	144人	122人	田川市 102人 市外 20人	84.7%
養護老人ホーム	意向調査 有	県 （介護保険課） 指定	1	50人	44人	田川市 11人 市外 33人	88.0%
軽費老人ホーム	意向調査 有	県 （介護保険課） 指定	1	30人	30人	田川市 26人 市外 4人	100.0%

介護保険施設等（入所施設）（施設名）

○介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

単位：人

No.	施設名	住所	定員
1	特別養護老人ホーム 寿楽園	田川市伊加利平原2091番8	100
2	特別養護老人ホーム ことぶき園	田川市伊田431-1	50
3	特別養護老人ホーム むつみ園	田川市弓削田2838番地49	50
4	ユニット型介護老人福祉施設 春のおとずれ	田川市伊加利2047-3	60

○介護老人保健施設（老人保健施設）

No.	施設名	住所	定員
1	介護老人保健施設 あげぼの荘	田川市夏吉46番地	100
2	介護老人保健施設 明寿苑	田川市川宮1569番地の2	100
3	介護老人保健施設 サンドリーム 田川	田川市伊加利2047-4	80

○認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

No.	施設名	住所	定員
1	グループホーム 見立	田川市弓削田3251番地	9
2	グループホーム めぐみの里	田川市夏吉364番地	18
3	グループホーム サンホーム	田川市川宮1711番地29	18
4	いきいきハウス日吉町	田川市糶2264番地1	9
5	医療法人吉峯医院 グループホーム日の出	田川市新町24番24号	18
6	グループホーム 夏吉園	田川市夏吉3614番地の1	18
7	グループホーム やすらぎ	田川市伊田426番地	18
8	グループホーム 愛の里 白寿荘	田川市奈良1534番地の31	18
9	グループホーム 心笑み 伊田	田川市伊田3764-1	9
10	グループホーム 老花家	田川市伊田2585番地4	9

○養護老人ホーム

No.	施設名	住所	定員
1	シントラスト 夢美苑	田川市川宮1567-8	50

○軽費老人ホーム（ケアハウス）

No.	施設名	住所	定員
1	ジョイハート	田川市大字奈良1529-55	30

その他の高齢者向け住宅

令和5年12月1日現在

施設区分	福岡県高齢者保健福祉計画にて整備量管理	指定等 関係機関	市内施設数	定員数	入居人員	入所人員の保険者	入居率
有料老人ホーム	/	介護付 (県介護保険課)	2	90人	85人	田川市 37人 市外 48人	94.4%
		住宅型 (県介護保険課)	20	512人	441人	田川市 240人 市外 201人	86.1%
		健康型 (県介護保険課)	0	-	-	-	-
サービス付き高齢者向け住宅	/	県 (住宅計画課)	1	100人	89人	田川市 56人 市外 33人	89.0%
高齢者向け優良賃貸住宅	/	県 (住宅計画課)	4	230人	204人	田川市 162人 市外 42人	88.7%
シルバーハウジング	/	国土交通省 厚生労働省	0	-	-	-	-

その他の高齢者向け住宅（施設名）

○介護付有料老人ホーム（県介護保険課届出分）

単位：人

No.	施設名	住所	定員
1	アットホームこころ	田川市大字夏吉417-3	30
2	さわやか田川館	田川市大字伊田393-1	60

○住宅型有料老人ホーム（県介護保険課届出分）

No.	施設名	住所	定員
1	コレクティブハウス「めぐみ」	田川市大字夏吉263番地11	14
2	住宅型有料老人ホームぱらだいす	田川市大字夏吉3062番地の1	20
3	住宅型有料老人ホームレッシェルン	田川市大字川宮664番地	33
4	住宅型有料老人ホームきらぼし	田川市大字弓削田117-1	40
5	サニーサイド	田川市大字伊加利2140-8	14
6	住宅型有料老人ホームまごころ	田川市伊田4849番地1	18
7	いきいきハウスレジデンス	田川市大字糺2265番地1	18
8	日の出荘	田川市大字伊田491-1	22
9	第2日の出荘	田川市大字伊田487-1	20
10	第3日の出荘	田川市大字伊田492-1	20
11	住宅型有料老人ホームケアタウンあいあい田川	田川市大字糺2085-10	89
12	後藤寺サクラ園	田川市丸山町1番4号	44
13	かながわ苑	田川市大字夏吉1785-1	36
14	サンプレイス暖家の丘	田川市大字位登113番地1	50
15	高齢者住宅縁むすび	田川市大字伊田2792-3	10
16	みまもり荘 慈愛	田川市大字位登1774番地1	5
17	高齢者住宅 えにし	田川市伊田2793番地1	10
18	住宅型有料老人ホーム みつばち	田川市大字奈良1539-4	13
19	ひだまりの杜	田川市大字川宮1055番地1	16
20	ローシャルリビング田川	田川市大字弓削田1492-1	20

○サービス付高齢者向け住宅

No.	施設名	住所	定員
1	サンフェロー暖家の丘	田川市大字糺824番地20	100

○地域優良賃貸住宅（高齢者型）

No.	施設名	住所	定員
1	かながわ苑	田川市大字夏吉1785番地1	36
2	後藤寺サクラ園	田川市丸山町1番4号	44
3	サンプレイス暖家の丘	田川市大字位登113番地1	50
4	サンフェロー暖家の丘	田川市大字糺824番地20	100

介護保険施設等（入所施設）の入所率

施設区分	施設数	定員数	入所率（12月1日時点）					備考
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム） ※定員30人以上	4	260人	98.1%	94.6%	95.8%	95.0%	96.2%	
介護老人保健施設 （老人保健施設）	3	280人	88.2%	87.9%	83.6%	81.8%	81.4%	
介護療養型医療施設 （療養型病床群等）	0	0人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	令和元年度1施設（8人） 令和2年度1施設（8人） 令和3年度1施設（8人） 令和4年度1施設（8人） （ ）は定員数
地域 密着 認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	10	144人	89.5%	88.3%	79.6%	79.6%	84.7%	令和元年度11施設（162人） 令和2年度11施設（162人） 令和3年度11施設（162人） 令和4年度11施設（162人） （ ）は定員数
養護老人ホーム	1	50人	76.0%	74.0%	66.0%	82.0%	88.0%	
軽費老人ホーム	1	30人	100.0%	96.7%	96.7%	93.3%	100.0%	
有料老人ホーム 介護付	2	90人	92.2%	98.9%	94.4%	92.2%	94.4%	
住宅型	20	512人	91.3%	88.8%	87.6%	84.6%	86.1%	令和元年度16施設（446人） 令和2年度18施設（473人） 令和3年度19施設（491人） 令和4年度19施設（492人） （ ）は定員数
サービス付き高齢者向け住宅	1	100人	95.0%	98.0%	96.0%	83.0%	89.0%	